

**総胆管結石の診断のため当院で超音波内視鏡検査を受けられた
患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に対するご協力をお願い**

愛媛県立新居浜病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】総胆管結石診断におけるラジアル超音波内視鏡検査(EUS)の有用性

【研究の目的】

総胆管結石の診断の際、CT や MRI を用いた画像検査を行いますが、小さな結石では診断できないことがあります。小さな結石については超音波内視鏡検査が有用であるといわれており、診断における有用性を検討します。

【対象となる方】

総胆管結石の患者さんで、2022年4月1日から2024年1月31日の間に総胆管結石の診断目的にEUSを受けた方。

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、CT や MRCP の画像検査、内視鏡検査、臨床経過)

【研究期間】 令和6年3月8日から令和6年12月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立新居浜病院
消化器内科 医監内科部長 山子 泰加

【問い合わせ先】

新居浜市本郷三丁目1-1
愛媛県立新居浜病院
消化器内科 医監内科部長 山子 泰加
電話 0897-43-6161 FAX 0897-41-2900